

(1) 概要

本町の公共下水道事業は、中新田処理区は公共下水道事業で、小野田・宮崎処理区は特定環境保全公共下水道事業として整備を計画し、早い地区で昭和61年度から工事に着手し、平成3年度に供用開始をしており、令和6年度末の下水道普及率は73.4%、整備面積739haとなっています。合併処理浄化槽事業については、平成17年度から市町村設置型で事業を進めており、循環型社会形成推進地域計画（浄化槽のみ）及び加美町生活排水処理基本計画との整合を図りながら整備を進めている。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理人口普及率: R6 88.3%

R17 93.5

R27 99.4%

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（単独）

整備区域内は概成しており、今後は維持管理分野での下水汚泥の広域化や老朽化による生活排水処理施設の長寿命化対策、技術者の減少などによる包括的民間委託の導入検討などが今後の課題である。

下水道処理人口普及率: R6 73.4%

R17 74.1%

R27 75.1%

2) 合併処理浄化槽整備事業

本町では、平成17年から市町村設置型の浄化槽設置整備事業を行っています。国の補助金の他に、合併処理浄化槽を設置する世帯の希望者に対して下水道事業と同様に融資あっせん制度を設けて普及促進をしています。浄化槽未普及人口が多いため普及促進が課題である。

浄化槽処理人口普及率: R6 14.9%

R17 19.4%

R27 24.3%

(4) 住民との協働

町のホームページや広報誌等を通じて、下水道の融資あっせん制度等を未普及世帯にPRし、水洗化の普及・啓蒙を図り、水洗化率の向上を図っています。